



# 第75回日米学生会議

## 日米学生会議ファイナルフォーラム開催決定

首相、国務長官を輩出。日本最古の国際学生交流が  
コロナ明け、4年ぶりに日本で対面開催。

夏の約1か月間、日米で選出された学生たちが、寝食をともにし学生ならではの本音の議論を行う日本最古・75回目の国際学生交流。その集大成の場、ファイナルフォーラムの開催が決定。

2023年8月24日（木）13:00～18:00（12:30～入場可能）

法政大学市ヶ谷キャンパス薩埵ホール（市ヶ谷駅、飯田橋駅）



### 日米学生会議とは

日米学生会議は1934年に発足した日本初の国際学生交流会議である。満州事変以降悪化していた日米関係を憂慮し、相互理解と信頼回復を目指した4人の日本人学生が渡米して、創設された。以降、戦争による会議中断を含め様々な困難を乗り越え、継承されてきた本会議は、現在まで88年の歴史を築き上げてきた。「世界の平和は太平洋の平和にあり、太平洋の平和は日米間の平和にある。その一翼を学生も担うべきである。」という創立当時の理念に基づき、両国の学生の相互理解と友情を育み続けている。

これまで宮沢喜一元首相、ヘンリー・キッシンジャー元米国国務長官などを輩出。毎年、日米両国交互に開催。日米で選ばれた学生計72名が、約3週間にわたる共同生活を送りながら、様々な議論、会議や活動を通して、相互理解を深めることを目的とする。

### ファイナルフォーラム概要

東京で行われるファイナルフォーラムでは、第75回日米学生会議において得られた成果として3週間の総括とその発表を行う。Japan Society（President & CEO）Joshua W. Walker氏をはじめとする専門家や有識者の方々をお招きし、現代社会の抱える現状に対する学生なりの見解や視点を発信することで、参加者の議論の成果を披露する。学生間の議論と社会とを繋ぎ、一学生として、日米学生会議参加者として、未来を担う一人として、どう様々な問題に向き合っていくかを考え、本会議での経験を自らの人生の中で再定義、発展させるきっかけとなる。

第75回会議では、「若い世代の提言、社会の刺激」をファイナルフォーラムの最終目標とし、発表を行う。

## 第75回日米学生会議

後援

外務省 文科省 米国大使館、日米協会

賛助・助成

日本万国博覧会記念基金、東京倶楽部、尚友倶楽部  
三菱UFJ国際財団、双日国際交流財団、霞会館、日米協会  
日本文具財団、日米学生会議同窓会、国際教育振興会賛助会



日米学生会議

Japan-America Student Conference

お問い合わせ

岡田潤

第75回日米学生会議実行委員 jasc75.jokada@gmail.com